



「ぐん」と伸びる秋

副園長 野本 和美

暑いが続いた9月でしたが、少しずつ涼しい日も増えてきました。子どもたちは、体育館、プール広場、ホールなどを使って、伸び伸びと体を動かす遊びを楽しんでいます。運動会に向けての気持ちも盛り上がっています。

ある日、5歳児がリレーをしました。2チームが大接戦の末、タッチの差で勝敗が決まりました。負けたチームのアンカーの子が「もう、やりたくない」と言って涙しました。その姿にチームの子や担任が「惜しかったよ」「すごく速かった」「大丈夫、次も頑張ろう」と声を掛けました。でも、その子はその言葉には答えられない様子でいました。その後、学級では、どうしたら勝てるか、について話し合ったそうです。皆、真剣な顔で意見を出し合い、その後、好きな遊びでも走る経験を積んだり、出たアイデアを試したりしながら、チームで取り組んでいきました。

子どもたちは、保育者や友達と一緒に体を動かす楽しさを十分に味わう中で、いろいろな気持ちを感じています。悔しい気持ちを感じることも多くあります。担任は、その機会を大切に、寄り添ったり仲間の力を借りたりしながら、一人一人が次に向かっていけるように丁寧に援助しています。

今後も、様々な経験を通して「ぐん」と伸びていく、そんな子どもたちをしっかりと見守りながら、皆で育ち合っていけるようにしていきます。保護者の皆様も、子どもたちの伸びていく姿と一緒に喜び、たくさん応援してください。

当日をお楽しみに！



5歳児 リズム 待ち姿もかっこよく



4歳児 おばけになりきって踊ります